

2024国際航空宇宙展（JA2024）開催速報

2024国際航空宇宙展（JA2024）が、10月16日（水）～10月19日（土）に東京ビッグサイト西展示棟全館で開催された。「空宙（そら）で織りなす、広がる未来。」をテーマに、新型コロナの打撃から力強く回復した航空宇宙産業が新しい仲間と共に広がる未来をアピールし、ビジネス拡大の機会提供を目的に、航空・宇宙・防衛の製造・運航・整備などの分野に加え、AAM（Advanced Air Mobility：次世代航空モビリティ）・脱炭素・宇宙ビジネスなどの新分野を加えた幅広い展示を実施した。航空宇宙産業を活性化し、若者を含め幅広い人たちに関心を持ってもらうことを狙いとして実施したコンテンツを紹介する。

1. 展示規模

23ヶ国・地域、663社・団体（共同出展含む）、1,156小間（2024年8月31日時点）。確定値は別途発表予定。

2. 入場者数速報

JA2024公式ホームページにも掲載されているが、会期中の入場者数速報値は下表のとおりである。なお、速報値であり変更の可能性があることに注意。

日付	天気	種別	入場者数
10月16日（水）	晴れのち曇り	トレードデー	7,728
10月17日（木）	曇り	トレードデー	10,152
10月18日（金）	曇り	トレードデー	9,732
10月19日（土）	晴れ	トレード・パブリックデー	9,556
合 計			37,168

3. 公式行事

(1) 開会式

日時 2024年10月16日（水）

午前9時30分～9時50分

場所 西展示棟1階 アトリウム内特設ステージ

中村 知美 日本航空宇宙工業会会長による

主催者挨拶、城内 実 内閣府特命担当大臣（宇宙政策）による来賓挨拶のあと、来賓5名、主催者2名によるテープカットが実施された。君が代斉唱やテープカット時のファンファーレ等では、航空自衛隊 航空中央音楽隊による演奏が式典に花を添えた。



中村日本航空宇宙工業会会長



城内内閣府特命担当大臣



テープカット



航空自衛隊 航空中央音楽隊

(2) 招待者プレビューアワー

日時 2024年10月16日(水)

午前10時00分～11時30分

会場 西展示棟全館

一般入場開始前に、ご招待した方とプレス関係者のみ展示ホールにご入場いただいて、展示をご覧いただいた。



城内内閣府特命担当大臣ご視察



展示会場

(3) オープニング・レセプション
日時 2024年10月16日（水）
午前11時30分～午後12時45分

場所 会議棟1階 レセプションホール
招待者、出展各社代表から約550人が参加して、オープニング・レセプションを開催した。



鏡開き



乾杯



レセプションの様子

4. 基調講演・特別講演

10月16日（水）に、開会式など公式行事に引き続き、午後より下記の記念講演を実施し

た。なお、基調講演の内容については、別途
詳報の報告を予定している。

	題目	講師
基調講演	我が国の宇宙政策について	内閣府宇宙開発戦略推進事務局長 風木 淳 氏
	航空機産業戦略、防衛・宇宙産業の取組について	経済産業省製造産業局長 伊吹 英明 氏
	航空政策の現状と今後について	国土交通省航空局長 平岡 成哲 氏
	防衛生産・技術基盤強化のための施策と今後の方向性	防衛装備庁長官 石川 武 氏
特別講演	日英国際協力	英国航空宇宙工業会代表 (BAE Systems Air社 COO) Ian MULDOWNY 氏



基調講演会場の様子

5. 会期2日目、3日目の主なプログラム

10月17日（木）、18日（金）は、ホールにおける展示のほか、会議棟において航空、宇宙、防衛各分野のセミナーや、GX、AAMなど拡大する分野のセミナーを開催した。同時に、併催セミナーとして、SAE航空宇宙日本シンポジウム、JAXA航空シンポジウム、東京工科大CMCセンターによるCMCに関する国際シンポジウム、チェコ共和国大使館（経済・商務部）によるチェコの航空宇宙産業セミナー、経済産業省による航空機サプライチェーンセミナーも実施した。

また、ホール内やアトリウムの3ヶ所の会場を使用しての出展者プレゼンテーションや、事前にマッチングをしたB to B ミーティングを実施した。B to Bミーティングは参加企業数 187社、商談件数 1572件、参加 15か国・地域という結果であり、JA2018に比べて企業数1.4倍、商談件数1.1倍という盛況ぶりであった。

なお、10月18日（金）には、事前に招待した高校生、高専生に対して大学生が説明員として企業、出展ブース、出展製品を紹介するガイドツアーも実施され、約90名の高校生・高専生が参加した。JA2024開催目的の1つに、航空宇宙産業に対する理解並びに若年層の関

心喚起等を図ることがあり、大学生有志が企画段階から参加するイベントとして初めての試みであったが、参加した学生には好評であった。



高校生、高専生ガイドツアーの様子

6. パブリック・イベント

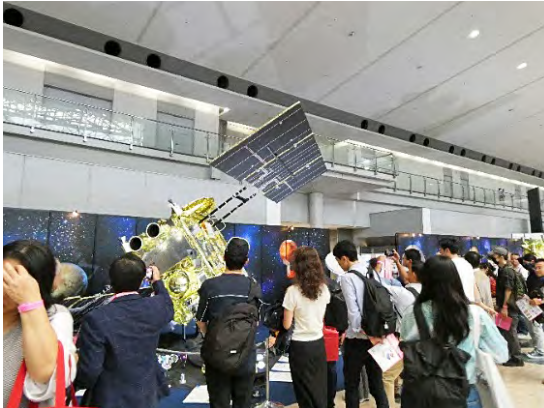
最終日の10月19日（土）は、トレード&ブリックデーとして、ホールにおける展示のほか、子どもから大人まで、楽しみながら航空・宇宙に触れられる体験型・観覧型コンテンツを提供し、この機会に航空宇宙の魅力に触れてもらうことで、将来の人材確保につながることを目指したパブリック・イベントも実施した。

アトリウムでは、「はやぶさ2」の実物大模型や火星衛星探査機（MMX）の1/2模型など、日本が世界に誇る宇宙探査技術に関する模型や、国際宇宙ステーション（ISS）の船外などで活動する際の宇宙服と同じ素材を使用した模型などを展示。月面ローバー（定員1〜4人）に乗車して月面スマートコミュニティ Lumarnity®をめぐるVR体験や、月面ロボットの操縦体験、月着陸実証機「SLIM」とともに月へ降り立って探査ミッションを成功させた変形型小型ロボット「SORA-Q」のレプリカ機を実際に操縦できる企画も盛況であった。

TVアニメ「宇宙なんちゃらこてつくん」関

連ではボードゲーム体験や、こてつくんと撮影ができる特設コーナーの設置、こてつくんと主題歌を歌う小林愛香さんのステージを開催した。アトリウムステージでは他に、米国

空軍太平洋音楽隊“パシフィック・ブラス”によるコンサートや、ものづくりに関わる女性技術者・研究者によるパネル討論会も開催された。



「はやぶさ2」実物大模型



船外活動宇宙服模型



月面プラントVR体験



月面ロボット操縦体験



こてつくんボードゲーム体験



こてつくん撮影会



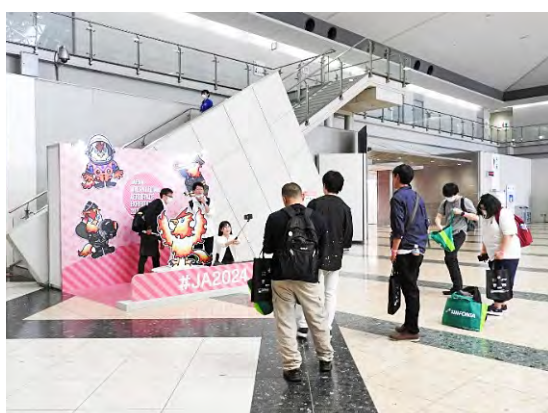
宇宙なんちゃらこてつくンステージ



米国空軍太平洋音楽隊コンサート



女性技術者によるパネル討論会



フォトスポット



オフィシャルショップ

展示ホールでは、会場内7つのエリアを巡って航空宇宙を楽しく学べるクイズ&スタンプラリー、こども・アニメ専門チャンネル「キッズステーション」が取り組む宇宙メディアブ

プロジェクトの一環として開発されている宇宙SDGsゲームの体験会、イベントコーナーでのJALによる折り紙ヒコーキのワークショップやアップサイクル講演会、ANA現役社員による航空機や航空の仕事に関する講座も開催した。

さらに、大型ケージを設置して、全日本学生室内飛行ロボットコンテストに参加した東京農工大学によるデモンストレーションを実施したり、JA2024開催を機に新たに誕生したJAキャラクター「JACKY」や、公式アンバサダーのVTuber「瀬名愛美」によるトークイベントも開催、航空宇宙業界の仲間を増やしたいと企画したイベントも盛況のうちに終了した。



クイズ&スタンプラリー



宇宙SDGsゲーム体験会



JAL折り紙紙ヒコーキ教室



ANAの航空教室



全日本学生室内飛行ロボットコンテストデモ



JACKYトークイベント



瀬名愛美トークイベント

会議棟では、宇宙開発フォーラム、東京大学名誉教授、鈴木 真二先生による講演と航空



宇宙開発フォーラム

自衛隊 航空中央音楽隊によるコンサートを実施した。



東京大学名誉教授、鈴木 真二先生講演



航空中央音楽隊コンサート

屋上展示場には、航空自衛隊のアクロバット飛行「ブルーインパルス」のミニバイク版「ブルーインパルスJr」が登場。「ブルーインパルス」の所属する松島基地所属の有志隊員によるチームが「ブルーインパルス」をイメージした青と白に装飾したミニバイクで「ブ

ルーインバルス」顔負けの曲技飛行ならぬ、展示走行を披露した。また、未来のパイロットである航空学生が、銃を持って音楽に合わせて行進、統制の取れた、美しい演技を披露するドリルも実施、観客を魅了した。



ブルーインパルスJr展示走行



ブルーインパルスJrパイロット



航空学生ドリル展示



航空学生ドリル展示

7. 所感

国際航空宇宙展は世界の航空・宇宙・防衛産業が集まる国内最大級の総合展示会で、参加者のビジネス拡大につながる機会を提供することが大きな目的であるが、B to Bミーティングの利用はJA2018に比べて企業数1.4倍、商談件数1.1倍という盛況ぶりであり、各社の出展ブースにおける商談も活発に実施されている様子が伺えたので、目的は達成できたと考ええる。

また、新型コロナの打撃から力強く回復した航空宇宙産業が、従来の分野にとらわれず、近年活動が活発なAAM・脱炭素・宇宙ビジネスなどにもすそ野を拡げた幅広い展示も実施

できた。講演・セミナーでは航空宇宙産業の最新・最先端の情報を多数発信し情報交換の促進を図れた。若者を含め一般の方たちに航空宇宙産業に関心を持ってもらうことを狙いとして、楽しみながら航空・宇宙に触れられる体験型・観覧型イベントも多数企画したが、おおむね好評で、充実した展示会になったと考える。

会員企業皆様のご協力により、盛況にて無事終了することができましたことを心より感謝申し上げます。今回の展示会を契機として、さらなる航空宇宙産業の振興につながることを期待しています。

〔 国際航空宇宙展事務局 部長 小林 貴 〕
〔 国際航空宇宙展事務局 部長 近藤 泰啓 〕